

カ イ ゼ ン 報 告 書

提案番号	No.21-2-1		
提出年月日	令和3年11月4日	受付年月日	令和3年11月4日
所 属	環境課 衛生係	職名・氏名	(<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 代表者)
提案件名	制度や業務フローの見直しと電子申請導入をセットで補助金手続きをラクに		
カイゼン前 の問題点	<p>所属業務の中で購入したものに対する補助金制度があるが、申請者及び担当課にとって負担となっている点がある点があった。</p> <p>課題① 手続きの多さ</p> <p>申請から支払いまで2・3回手続きが必要で、手間だという声があった。手続きの流れは次のとおり。</p> <p>(1) 申請 市民：申請書提出 市：受理→Excel入力・決定通知案作成→起案→決定通知送付</p> <p>(2) 変更 市民：変更申請書提出（交付決定通知が届いてから～購入前まで） 市：受理→Excel入力・変更決定通知案作成→起案→変更決定通知送付</p> <p>(3) 請求 市民：請求書提出（領収書添付） 市：受理→Excel入力・確定通知案作成→起案→確定通知送付→支払処理</p> <p>課題② 申請できるタイミングが限られる</p> <p>申請には、(1)開庁時間内に窓口に来られるか、(2)郵送のどちらかだが、郵送料がかかることや、不備があった場合に二度手間となることから、市役所に来庁されることが多い。そのため、特に平日勤務の方などにとってはハードルがやや高かった。</p> <p>課題③ ネットショップとの相性の悪さ</p> <p>最近ネットで購入されるケースが増えてきたが、商品の入れ替わりが激しいため、申請時から交付決定までの間に金額変更や売り切れ状態となることが大半で、その都度変更手続きが必要となり、申請者にとっても担当課としても負担であった。</p>		
取組内容	<p>(※実運用は令和3年11月からになります。)</p> <p>課題①、③への対応</p> <p>⇒購入前申請から購入後申請へ（手続きを1回で済ませる）</p> <p>(1) 補助金交付要綱の見直し</p> <p>(2) 様式、チラシの作成 提出書類は申請書と領収書のみとし、極力シンプルに。また、電子申請にもマッチするように帳票を設定した。</p> <p>(3) 受付時の入力や、交付決定通知書の作成に使用するExcelの見直し 例) 1シートに入力するだけで、交付決定通知書と支出調書を作成できる</p>		

	<p>ようにするなど。また、電子申請の場合もそのままダウンロードして貼り付けする程度で事務負担を極力減らすことを意識して作成した。</p> <p>新しい手続きの流れ 市民：購入→紙または電子で申請（領収書添付） 市：受理→Excel入力・確定通知案作成→起案→確定通知送付→支払処理</p> <p>課題②への対応 ⇒従来の紙申請に加え、電子申請を追加</p> <p>(1) 交付条件の確認 1 ページ目に、本補助金の交付条件を確認させるページを作成。 「交付条件を満たしています」と回答しないと申請に進めないように設定することで、補助金の対象ではない方による申請を低減。</p> <p>(2) 申請額の自動計算 本補助金は、購入基数の制限や補助金額の上限があるが、購入容器の種類、金額、個数を入力することで、申請額を自動計算させるように設定。二度手間とならないよう、申請額の計算誤り等の不備が極力無いようにした。</p>
<p>カイゼンの効果</p>	<p>市民視点の負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 1 申請あたりの手続き回数、手続き書類の削減 <p>従 来：手続き回数 2～3回 提出書類 計3～5枚程度 見直し後：手続き回数 1回 提出書類 計2枚</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 24時間どこでも申請可能になった。 ▶ インターネットショップでの購入の場合も利用しやすくなった。 ▶ 電子申請フォームは入力制限や自動計算を設定することで、単純な入力・計算ミスの軽減 <p>市視点の負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 郵便代、紙の削減 <p>今年1年間の申請見込み 約40件</p> <p>従 来：送付回数2～3回(年間約100回) 送付枚数 約10枚(年間約400枚) 見直し後：送付回数 1回(年間約40回) 送付枚数 2枚(年間約80枚)</p> <p>郵便代→約60%削減、紙→約80%削減</p> <p>※押印廃止を受け、電子申請の場合はメールでの通知書送付も検討中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 事務処理回数の削減 <p>従 来：回数 2～3回 入力&起案 見直し後：回数 1回 入力&起案</p> <p>従来の手続きにただ電子申請を導入するだけでなく、<u>要綱の改正や業務フローの見直しと電子申請の導入をセット</u>することで全体最適化を目指しました。</p>
<p>カイゼンに係る経費等</p>	<p>経費は、人件費のみ。 電子申請フォームの作成 半日～1日程度</p>
<p>所属長意見</p>	<p>電子申請導入により、事務の簡素化が図れるだけでなく、補助制度の利用者の増加につながるものとする。また、この補助制度の利用者が増加することにより、ごみの減量化施策の推進も図れる。</p> <p>これを機会に、他の補助制度の電子申請導入を検討してください。</p>